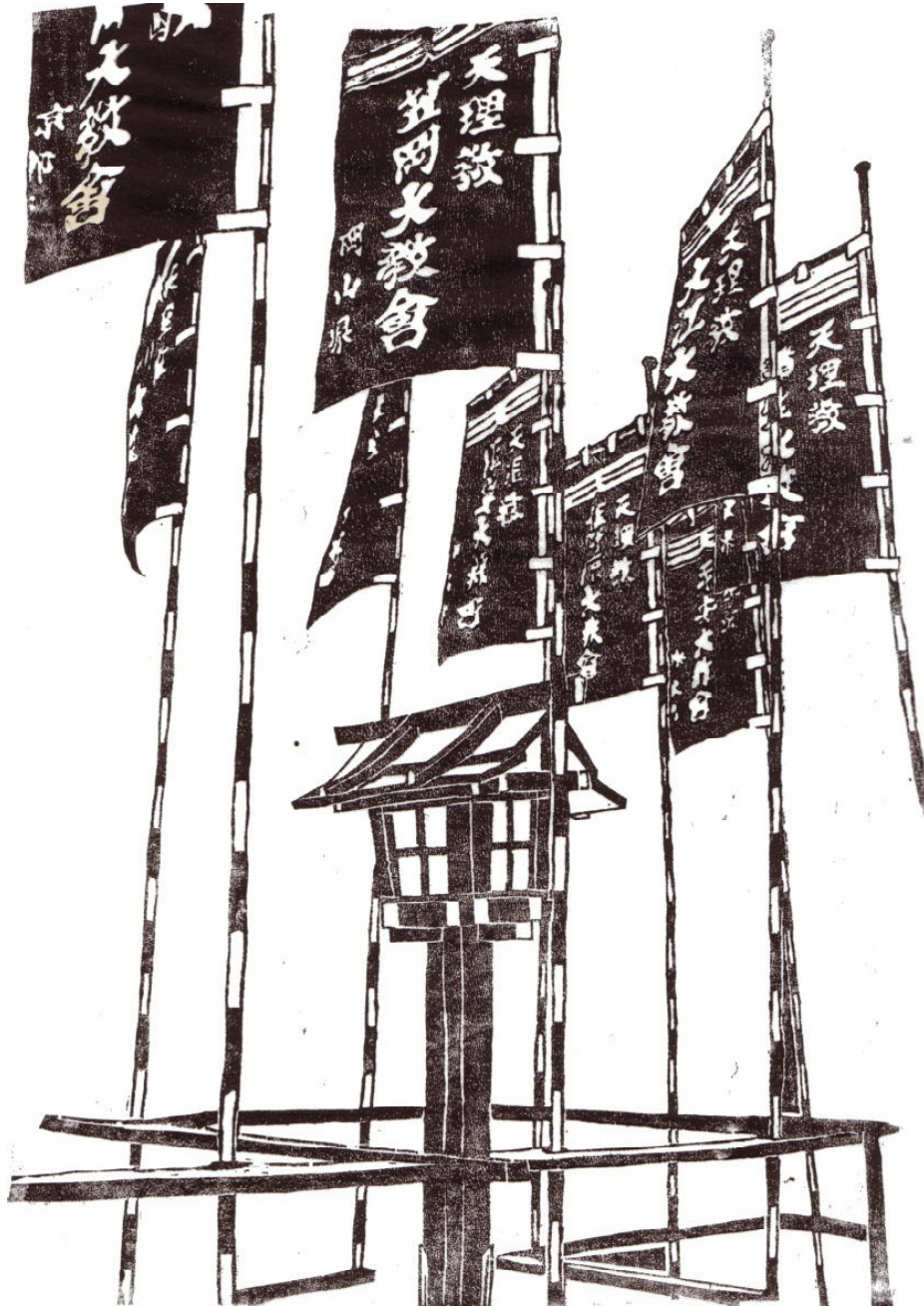


発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314

かさおか



春秋大祭の日

おつとめ奉仕者の増員

- ・一人ひとりが日々に真実を尽す
- ・布教によるおつとめ奉仕者の増加
- ・後継者講習会への参加による奉仕者の増加
- ・おちばへの伏せ込みひのきしん

立教171年
10月号

別席ひのきしん団参

10月25日(土)・26日(日)



おかえり講話

日 時 10月25日 午後7時

会 場 笠岡詰所

講 師 後藤 洋一 先生

(本部准員、愛布教所長)

講話に先立ち、大教会長様よりご挨拶がございます。



統一行事

回廊ひのきしん

日 時 10月26日 午後1時

集合場所 西礼拝場

携行品 ひざあて



詰所宿泊等に関する お願い

本部秋季大祭に合わせて行われます大教会の「別席ひのきしん団参」では、大勢の方々が詰所へ宿泊されます。つきましては、詰所へ宿泊される皆様にはいろいろとご迷惑をおかけすると思いますが、何卒ご理解を賜り、次ページに掲げる各点につきましてご協力下さいますようお願い申し上げます。

I. 宿泊について

- ①宿泊の申し込みは必ず教会を通してお願いします（個人での申し込みはご遠慮下さい）。
- ②部内教会のあるところは、部内教会の分も取りまとめてお申し込み下さい。
- ③今回は乳幼児に関する特別扱いはご遠慮いただきたいと思います。
- ④身上者についてはご相談下さい。
- ⑤バスの乗務員の宿泊に関しては、他社の乗務員と同室になってもよいという条件で受付致します。
- ⑥**10月21日までに**、詰所あるいは輸送掛（興明：吉岡）までお申し込み下さい。

II. 駐車場について

- ①大型バス（約10台）は詰所駐車場へとめていただいて結構ですが、マイクロバス及び中型バスは乗客を降車後、本部駐車場へ移動をお願いします。
- ②自家用車は詰所へとめてもらって結構ですが、大型バスの邪魔にならないようにお願いします。
- ③26日の秋季大祭は午前8時から執り行われます。つきましては詰所にとまっている大型バス並びに自家用車は、**午前7時までに**は詰所から出ていただくようお願いいたします。その後、マイクロバスと中型バスが詰所まで参拝者を迎えに来ます（マイクロバスと中型バスは午前7時以降に詰所にお入り下さい）。

III. 食事及び入浴の時間について

- ①決められた時間内をお願いします。
 - ・食 事 …… 25日夕食：午後5時～午後7時まで
26日朝食：午前6時～午前7時30分まで
26日昼食：午前11時～午後0時30分まで
 - ・入 浴 …… 午後6時～午後10時まで

IV. 食事及び弁当の申し込みについて

- ①決められた日時までにお願いします。詰所での食事に関しましては、人数がはっきりしない場合は少なめに申し込みいただき、出発時に実人数を詰所までご連絡下さい。業者の弁当は斡旋させていただきますが、締め切りを過ぎたの変更は出来ませんのでご注意下さい。
 - ・食 事 …… 2日前の夜まで（例：25日の夕食は23日の夜まで）
 - ・弁 当 …… 2日前の午前8時まで（時間厳守）
（例：26日の昼食弁当は24日の午前8時まで）

★業者の弁当には今年の夏より割り箸がついていませんので、各団体で割り箸のご用意をお願いします。

以上、よろしく願いいたします。

詰所掛・輸送掛



ひまわり会、女子青年

おつとめまなび大会

去る8月24日、8月とは思えない程の爽やかなお天気に恵まれひまわり会118名、女子青年69名婦

人会、青年会、子供達を合わせて、340名余りの方々の御参加、又お力添えを頂き、賑やかにおつとめまなび大会をつとめさせて頂く事ができました。午前9時30分、支部長様のお手に合わせて三殿礼拝後、ひまわり会、女子青年合同の9交替によるおつとめまなびをさせて頂きました。この日のために3回の合同練習の他、教会ごとに練習を重ね一手一つの素晴らしいおつとめとなりました。

おつとめに続き支部長様より、「教会に足を運ぶ」「ひながたをたどる」「自から実行し世間に発信していく」という婦人会創立百周年に向けての歩みや、女性としての本来の役割等をわかりやすくお話頂きました。

その後、ひまわり会、女子青年それぞれの会員より、活動内容の報告、感想、例会へのお誘い等の発表があり午前の部が終了となりました。昼食には、早朝より準備して頂いたカレーを頂き、食堂横の廊下ではチケットと引き替えにコーヒーゼリーやジュースを買い求める列ができ、皆さん和気あいあいと楽しいランチタイムを過ごされていました。



午後からは典日分教会長、増田正義先生のご講話を聞かせて頂きました。

どんな中も「おやさまのひながた」という公式にあてはめ「よろこび」という答えを導き出すというお話の裏には、交通事故や奥様の突然の直出しという大きなふしを乗り越えて来られた御苦労があり、皆、涙と感動につつまれていました。

引き続き、リラックスタイムでは増田先生に楽しいゲームやステキな歌を歌って頂き、年齢に関わらず会場が皆一つになっ

て楽しい時を過ごす事ができました。そして、三殿礼拝後閉会となり、会場をピロティーに移してミニ喫茶、フリーマーケットのお楽しみ行事の後、解散となりました。

今回、初めて女子青年さんと合同で開催させて頂き、準備、内容等紆余曲折がありました。何度も話し合いを重ね、心を通わせ当日を迎えさせて頂いた事、また、日頃なかなか大教会に参拝する事が難しい遠方の方も大勢御参加下さった事本当にありがたく思わせて頂きます。



そしてこれから一人でも多くの方にひまわり会、女子青年活動に参加して頂き、2年後の婦人会創立百周年に向かって共々勇んで歩ませて頂きたいと思います。

最後にこの大会にあたり、多くの方々のお力添えを頂きました事よりお礼申し上げます。

(婦人会担当 西村 由理子)

夏休みも終わりに近付いた8月24日、ひまわり会、女子青年おつとめまなび大会が開催されました。今回はおつとめがメインの大会ということですが、この大会に向け、それぞれのブロックや全体でも、おつとめの練習を行ってきました。

初めての全体練習の時、支部長様よりおつとめについてお話がありました。おつとめは、地方、手をどり、鳴り物、参拝者皆が心を合わせてつとめることが大切で、お互いに合わすという心をつくらせていただくものであるということをお話下さいました。皆が心を合わせ、一手一つにつと

ひまわり会、女子青年
おつとめまなび大会を
振り返って



めることの大切さを教えていただき、練習を重ねていきました。練習を重ねる毎に、お互いに心を合わせたおつとめができていったように思います。

そして本番当日を迎え、練習の成果もあり、一手一つにつとめさせていただきました。振り返ってみますと、この練習の過程がすごく大切だったんだなあと感じています。

また、今回の大会が2年後に迎えます婦人会創立100周年へ向けての大切な一歩であり、今後のひまわり会、女子青年活動がさらに充実したものになるための大きな役目を果たせたのではないかと感じました。

終わりにりましたが、大教会長様、支部長様はじめ、大会を陰で支えて下さいました婦人会、青年会の皆様に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

HIMAWARI-KAI

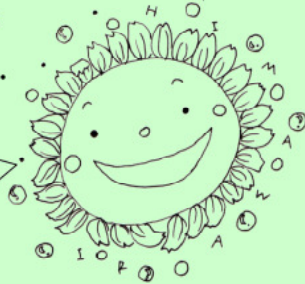


平成9年6月3日、支部長様のおもいを
受けて、笠岡に繋がる若い女性の信仰を
培える場、教えに出会える場としてひま
わり会が誕生しました。ひまわり会は既
婚・未婚・子供の有無は問わず、26才
～40才位までの女性が気楽に集える会
として活動しています。



◆活動の内容は…

- ⊗ 年間の活動計画をたてて毎月例会を持っています。唄り物、おつとめ練習、にをいがけ、着付け教室、フリーマーケット、マナー教室など。
- ⊗ ひまわり会報の発行。
- ⊗ お誕生日カードの作成
- ⊗ おちばがえり団参りもありました (*^o^*)



毎月1日(1月・8月を除く)午前
10時より大教会にて例会をし
ております。どなたでもお気
軽に！ 皆様のご参加を
お待ちしております♪



にをいがけ子供会



第2回ひまわり大会



着付け教室



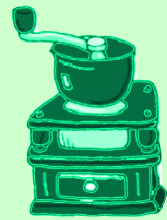
笠岡五人衆四小間劇場

第一回「父上の言葉」



ぐち日記

芦辺分教会長 松岡 睦代



八月二日(土曜日)S君(29才)おたすけ
彼は小5、6妹と共にこどもおぢばがえりに参加して呉れた。百年祭前後私の布教所でも三、四十人参加。妹はおしゃんで、彼はおとなしいそれから何年か・た夏夜毎十二時〜一時けたた

ましい音を立てバイクが走る。誰? そのうち彼だと噂をきく。警察もない注意する者もない? それか間もなく友人と二人乗電柱にブチ当ひん死の重態、早速お助けに行かせて頂く
九死一生今は自宅で療養、週一病院四施設、日曜は母の実家あづけ、在宅は土曜だけ、私はその九時から十時の間、先づおさづけ取次、座りづとめ学び、彼が自由に動かせるのは左手だけ。言語障害もある。次はいろは、アイウエオ、ABC、二二が四のくく、終った左手で作文を、十二下りのおうた(今三回目)、はじめは、ハナハトから始めた。今では漢字も書ける。あとジャンケン10回戦3回、この頃は二十何対云々と私の大負け、左手を私がぼんと降す手をつかむ、この頃では3回

位でつかまれてしまう。
十七才で障害者になった紅顔かれんな美少年、今はすっかりおっさん顔。体がずると、ベットを一度倒して体を引張る彼は五十k以上あるであらう。私二十七k「ヨイショク」毎日世話するお母さんたいへんだろと思う
おぢばがえりもす、めてみるが私自身に積極性のない事を泌々想う。病人は多くあるけど、病院、施設行で不在、百年祭三年千日の砌一万回さづけ取次はどこえやら、近々一ヶ月数回取次の記録が、何ともいえない寂を誘う。 がん張せて頂かなくちゃあ!
お貸し下さる命何時までか?

今月号より、**笠岡五人衆四小間劇場**と題して、大教会 上原元子さん作の4コマ漫画を連載いたします。
はてさて、ピヨのすけの行く末やいかに...??
来月号に乞うご期待!!

人間ウォッチン、グー

(ひ)

毎日、明石献血ルームの所員の方が2、3名兵庫県免許更新センター前に出張して免許の更新に訪れる方に献血活動の依頼をされている。そこで献血の受付をされた方は歩いて2分程のルームで献血をするという形だ。私達の支部では20年以上にわたってルームの方に協力して献血呼びかけのひのきしんを続けている。午前中、献血有り難うと記したタスキを掛けてポケットティッシュを配りながら献血のお願いをする。「献血をお願いします」「お帰りに(免許更新の)お時間を頂けませんか」等と声を掛けながらティッシュを配る。実

に様々な反応がある。人間百態。「有り難う」と受け取る方、「ご苦労様」とおっしゃる方、笑顔、黙って受け取る、全く無視して通り過ぎる、手を振って拒否、役に立つのに……。更新センターの中は満杯になっている。時には入りきららず、列が入口から外の遠くまで並んでいる時もある。オリックス時代のイチローが免許更新に来たと聞いた。並ばないでVIPは直通だったそうだ。並んだら騒ぎになるなあ。私の娘二人を呼びかけに参加させた。前もって言うておく。「あんな、ティッシュ受け取らん人や無視する人が二十人はおるよ。腹立てたら損やで。ああ、こんな人もおるなあと思ってニコッと笑うんやで」と話す。娘二人は頑張りました。案の定ティッシュを差し出しても知らん顔の人がいる。と可愛い娘のことなのでこっちが腹が立つ。また居た。ウ



▼養徳社発行『陽気』誌九月号、「道柳」より転載

▽今回の課題は「集」、選六十三句中、笠岡に繋がる教友の方一名、一句が見事選ばれ掲載されましたので転載させて頂きます。おめでとうございます。

准秀詠 東悠分教会前会長夫人 田 林 美智子

月次祭集うよろこび明日に生き、

▼表紙の版画 東城分教会長 横山逸郎氏

こっちが腹が立つ。また居た。ウオッチン、グー“じゃなくバッドやな。その後何故か娘二人のひのきしんはこの日で終わり後は参加なしとなったのである……。このことから私は歩いていて配り物があれば必ず受け取ることにしている。自分が配ってみて「有り難う」と言うて受け取ってくれる人こそ有り難いからだ。

訂正とお詫び

『かさおか』先月号(第47巻第9号)において、左記の通り誤り・不具合がございました。読者ならびに関係者のみなさまにご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

記

◎こどもおちばがえり 詰所内クイズの項

小学校高学年コース「◎日本で一番長い川は？」の答えは「長良川」でなく「信濃川」でした。また、「⑩アメリカの首都は？」の答えが「ワシントン」になっておりましたが、正しくは「ワシントンD.C.」です。

◎英語講習会記事

講師名が「T講師デイビッド井上氏」となっておりましたが「ギャビン・ダムロン氏」の誤りでした。

◎全教野球大会岡山県予選の記事

三代拓巳さんの文中で「結局今回は自滅し、6もまわりからのバックアップに後押しされ」は、「結局今回は自滅しつつも、まわりからのバックアップに後押しされ」の誤りでした。

第812期修養科募集要項

***修養科期間**

立教171年12月1日～翌2月27日

***教 養 掛**

3ヶ月間 高 木 昭 祥 (大教会准役員・湯田原分教会長)
 1ヶ月目 山 成 友 司 (稲富士分教会長)
 2ヶ月目 仙 田 公 男 (天場山分教会長)
 3ヶ月目 森 本 忠 善 (海松ヶ岡分教会長)

***募集要項**

- ・志願者は、12月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・11月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、3月1日の昼食後に解散。

***教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』、『よふぼく手帳』。

***参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

***携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

***服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
「別 席 願」	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本 部 御供		○	・「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者のみ。
「おはなし」	○		・願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
修養科入学御供	○		
「住民票」		○	

腹立の言葉が一青年に一生の決心をさす

田中光次郎

私方の信徒筆保磯五郎氏の甥に敏男と云ふ人が居ります、小さい時から筆保氏に養はれ、又お道に依つて肋膜の大病を助けられたのでした。處がその後どうも信仰が進まない、そして不景氣だから青年會を止めると云ふのです。それが氏の息の嫁とみよさんから氏の耳に入つたのです。さあ、大變、信仰の篤い磯五郎氏の事ですから之を聞いてブン／＼に怒つたのです。「どし公は居るか！」早速甥の家に出向いた氏はこう云つて甥を求めましたけれど生憎留守でした。西の家へ行つたと云ふのでその方へ行つて見ますとやはり居ない、止むなく家へ引き上げました。

丁度その後へ何にも知らぬ敏男氏が歸つて來ました。でとみよさんは父の非常に怒つてゐる事を氏に話しました。敏男氏は非常に驚きました。そして「では青年會費を納める」と云つたのでした。とみよさんは歸つてその事を磯五郎氏に話しました。

然し氏の怒りはそんな事で決して鎮りはしません。「青年會費なんか納めんでもよい、そして俺の眼のどろく所には居つて貰はん」そう云つて一步も退かないのでした。

困つたのはとみよさんでした、伯耆に居る彼女の妹と敏男氏とは既に婚約が成立つてゐるのでした、而も先方は今は出さぬと云ふのを無理に貰ふことにしたのです、今こんな事件が起きて

は勿論貰へない、と云つて手紙で斷りを云ふ譯には行かない、厭でも自分で伯耆まで行かねばならぬ、伯耆まで二十里、子供を連れた女の身でこの旅行は却々困難である。困じ果てたときよさんは遂に私の處へ相談に來ました。それで私はお父さんに話し又敏男氏にも話すから來て貰ふ事にしました。その夜敏男氏は教會へ來ました。以下私のその時云つた話の大要です。

敏さん、伯父さんが怒つたのは一つの節です。伯父さんはお前さんの父が早く死んだのでお前さんをわが子の様に可愛がつて育てた。一昨年お前さんが肋膜炎にかつた時もわざわざ川邊の醫者へ入院させて呉れた。その間教會からお助に運んで醫者が驚く程早く御守護を頂いた。然かもとみよさんの妹が伯耆に居るのでこれを嫁に貰つて、一軒空家があるからそれへ家持をさす積りで居られる、その人は十九であなたは二十二、世間では四ツ目で合性が悪いと云ふけれど夫婦そろふて信仰すれば差支ないと思ふ。處で嫁を貰へば結納も要る、御馳走もする、家持をすれば道具も買はねばならぬ、それをその費用の事は云はないで僅か一圓の青年會費を不景氣だから止めると云ふ様な氣持で助かるか、一昨年の肋膜炎の時を考へて御覽なさい、只一圓の會費を不景氣だからと云ふ様では今後如何なる事があつても神様へ助けてやつて下さいと願ふ事が出来ない。だから家も貸さぬ、嫁も貰はぬ、わしの眼のとゞく處に居つて貰はぬ、と云はれたのである。

婦人會の事業は養徳院、女學校、青年會の事業は外國語學校、中學校等、皆これ人を助ける爲の

事業である、人を助けてわが身が助かるのである、肋膜を助けて頂いて講社に入り、青年會に入つて會費をかける、それだけでも助かつて行く道である。その上に信心に重きを置いて行けば大難も小難で逃れさして頂けるのである。

私方の講社にある紺屋があつた。青年會にも入つて呉れて一年の會費を納めて呉れた。處が二年目は却々納めて呉れない、三年目には私が四度行き、信徒が十二遍、合計十六遍行つたけれど、大きいものがないとか、小さいものがないとか云つてどうしても納めて呉れない。一ヶ年一圓の會費に十六遍行くとして後七年なら百十九遍、それから先幾度行つたら出して呉れるものとも知れない。で止むを得ず行先不明として退會の手續を取つた。

その後の事である。紺屋は奥の方の氏神祭の晴着にする染物をして馬車に乗せて五六里の奥へ運ばせた。處がどうしたはずみか馬車が池の中へ落ちかゝつてその染物は水の中へ落ちて終つた。然かも外の荷は落ちずにそれだけが落ちたのであつた。そして開いて見ると折角染め上げた赤や青が一緒くたになつてしまつてゐた。さあ、先方からはやかましく云はれる、一々訛を云つて廻つてその上に又染め直さなければならぬ、大變な手間をした事であつた。

然しこれだけで濟めばまだよかつたけれど又その後その父親が眼を病つて病院へ入院した。一ヶ月目百五十圓、二ヶ月目百五圓、三ヶ月目百圓、こんな大枚の金を使つて療治してゐたが或日、ふと築山の石につまづいた處轉んで額を割り四針も縫ふ始末であつた。そして私の處へ

お助に来て呉れと云つて来た。

然し先方の因縁の深いのと私の信仰の浅さは「この人はよく嘘を云ふから助けてやつて下さい」と神様に願ふ心にはさせなかつた。そして遂に行かずにしまつた。聞けば遂に死なつたこの事である。

茲で考へなければならぬのは僅か一圓の金ではあるけれど、それを断る事は助かる道を断る事である。染物の池に落ちた事は如何に多くの無駄足を無駄手間を費させた事であらう。それは教會の人に幾度もく、無駄足を踏ませた幾層倍であつたに違ひない、而かも尙醒めることをようしなかつた彼は遂に父親をまで死に至らしめたのであつた。

神様の理は生きて居る、あなたはこの紺屋の二の舞を踏まうとは思ひますまい。大要こんな話をしました。黙つて聞いてゐた敏男氏の顔には深い感激の色が漲つてゐました。そして以後、青年會費も納める、月一度のお祭にも必ず勤めさして頂き生涯道の爲に盡すと云ふ事を誓つたのでした。

以來氏の信仰は動かすべからざるものとなりました。そして嫁も貰ひ家持もする事になりました。

かくて一人の誠故の立腹は一青年をして一生の決心をなさしめたのでした。若し彼をしてこの怒りに觸れしめなかつたならば或は取返しつかぬ情落の淵に落ちてゐたか

も知れませぬ。
 神様は何處までも御慈悲であります。

九月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様の子供かわいい一条の親心溢れる御守護と成人へのお導きによりまして 日々は結構に恙なく生活させて頂いております 特に今は暑さも和らぎ 朝晩はすっかり涼しくなって秋の訪れを感じられ 野菜や果物も実りを実感出来る季節をお与え下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 私共は日々喜びと感謝の心いっぱいに 世界一列救きたいとの思召に少しでもお応えさせて頂きたいものと朝に夕に御礼申し上げつつにをいかけ強調月との思いの元をいがかげおたすけにとたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日は九月の御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕者一同 親の心に溶け込むべく 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて九月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には日頃つくし運びの真実を積み重ね 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し同じ思いに伏し拝み尚も変わらぬ親心にお縋りする真実の状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて今世上は人としての心の荒廃のみならず 温暖化による気候変動又心のよりどころとなつてきている経済さえもが破綻をきたし 救いを求める手立さえも失つていくように思われます そんな中だからこそ世上に流されることなくしっかりと親を見定め 陽気ぐらし建設のよふぼくとしての自覚を高めて親の思いを伝えて行かなければなりません 月末の全教一斉にをいがかげデーを一つの節目として より一層たすけ一条に邁進させて頂く所存でございます 更には来月直轄教会の大祭参拝をさせて頂き 年毎の成人目標であります心定め 完遂を目指しての働きを確認させて頂くと共に おつとめ奉仕者増員に向けての動きをより確かなものにさせて頂く所存でございます

何卒親神様には親の思いに近づきたい 一心で成人の道を歩む皆の真実誠の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚一層の御守護を賜り 成人の歩みを早めて 一日も早くお望み下さる陽気ぐらしの世の状に立て替わりますようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

秋季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます

本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖 上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代会長上原伊助大人光刀自の神霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人の神霊 笠岡の道の始まりの頃より歴代会長を忝に共に今日の道を築いて下った役員 部内教会長 よふぼく 信者の神霊 諸々の神霊の前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

祖霊様方には親神様教祖から身上事情を通して早くからこの道に引き寄せられ親心に触れ 御報じ一筋に息の限りにたすけ一条の道を歩まれました 今日お道の結構な姿をお見せ頂くのもひとえに親神様の御守護 教祖のひながたの賜である事は申すまでもございませんが 又一つには祖霊様方のそうした親への御恩報じの思いのままににをいがけおたすけやつくし運びを通して真実の伏せ込み理作りをして下さったお陰と 日々は朝夕に御礼申し上げつつ 祖霊様方の思いに少しでも近づきたいものと たすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております 分けても今日は秋の霊祭を執り行う定めの日柄でございますので 御前に海山川野の旬の物を供えて 只今はおつとめ奉仕者並びに部内教会長一同 親神様の御前にて陽気にてをどりをつとめさせて頂きました 引き続き御前に額ずき御遺徳を称え言改めて御礼申し上げる状を御覽下さいまして 祖霊様方にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて祖霊様方の時代と比べて今の方が生活環境は確かに良くなっていますが それに反するかのよう心荒廃は進んでいます お道の中に居てもつい流されそうになってしましますが 決して親の背中を見失うことなく 次の塚を目指しておつとめ奉仕者増員を合言葉に成人の歩み怠る事なく進めさせて頂いておりますので 何卒祖霊様方には御心放つ事なく温かくお見守り下さいまして 後に続く者の方たすけの上に 教祖のお働き親神様の自由の御守護を賜り 成人の歩みがより早まりますようお力添えの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

◆ 雅楽練習会

- 【と き】 平成20年11月2日(日)午後2時~3日(祝)午後3時
- 【と ころ】 笠岡大教会
- 【対 象】 雅楽奉仕人・全調子の吹ける人
- 【参加お供】 3千円
- 【講 師】 広島雅広会より三浦先生・住田先生・田口先生
- 【申し込み】 10月20日までに鶴山・中島へ申込みをして下さい。

今回の講習会は、葬儀・年祭などでよく演奏する盤渉調を中心に勉強します。

・原・稿・募・集・

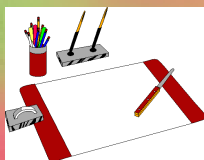
内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字)
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先



下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。
郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377
FAX：0865-66-1314
メール：tenkasa@yahoo.co.jp
尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。

大教会だより

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教171年9月14日終講
稲倉 北川 祥江
亀田山 新良 佳永

◎本部保安室境内掛

自 立教171年10月1日
笠岡 浅野 明 教



最近「失言」という言葉をよく見聞きする。
「言いそこない・言いあやまり・過言」と広辞苑に記されている。

テレビ、新聞の報道を見て、何でこの人はこんな発言をするんだろうと首を傾げる事もある。しかも公の場で——。国の要職に就いている人だけにその一言の意味は重く、注目され、ついには失言として命取りになる場合もある。
言葉というものは突然に出てくるものではない。

い。いつも心の中のどこかで思っている事が何かの拍子で、つい口を滑って出てくるのだ。自分の発言を人がどう判断するか常に念頭に置く必要がある。

これは私たち布教師にも言える事ではなからうか。

ひとことはなしハひのきしんにほひばかりをかけておく

(七下り目1)

と示されている様に、ひとこと話す事によって親神様の御守護を人に伝え、信仰の喜びを人々に伝えていく。これが私達の使命である。

が、このひと事が難しい。勇ませるもいませるのも言葉である。ひとことのいをいがけで人の運命を変える事だってある。

折りしも今月は、にをいがけ強調月間である。布教師という責任ある立場で、責任ある言葉を使って親神様の御教えを広めていきたいものだ。

ひとことはなしのプロとして——。(し)